

02 権利擁護事業のご案内 03 ふくしの広場 04・05 中部地域包括支援センターだより 06 ボランティアだより
07 トピックス 08 Go!Go!SCタイムズ、ご寄付紹介

赤い羽根共同募金に ご協力をお願いします



赤い羽根共同募金は、
毎年10月1日から全国一斉に実施されます。



♪主な募集方法

- 区長さんを通じて
- 赤い羽根協力店（町内にある施設やスーパー、歯科医院など）
- 街頭募金で

♪募金の主な使いみち

お寄せいただいた寄付金は、幸田町を良くするための活動や、愛知県内の
社会福祉協議会をはじめ、福祉施設・団体の活動に幅広く役立てられます。



社会福祉協力校の活動支援



ふれあい・いきいきサロン、老人クラブや福祉団体の活動支援



募集期間 10月1日～12月31日

第75回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール優秀作品の展示

と き 10月11日(水)～18日(水) 午前9時～午後7時
*初日は午後3時から、最終日は正午まで

ところ 幸田町立図書館ギャラリー

皆さまお誘い合わせの上、ぜひご覧ください。



権利擁護事業のご案内

このようなお困りごとはありませんか？

お金の管理がしっかりできない



ひとりでは書類の手続きができない

そんな時でも安心して暮らせるように活用いただける制度があります

成年後見制度とは

法定後見制度と任意後見制度の2種類があります



今必要な人

**法定
後見制度**

法定後見制度は、認知症・知的障がい・精神障がいなどにより、判断能力が十分でない人のために、家庭裁判所が適切な支援者を選び、お金の管理や生活に必要な契約手続きをお手伝いする制度です。



これから
必要になる人

**任意
後見制度**

任意後見制度は、ひとりで決められるうちに、あらかじめ自らが選んだ「任意後見人」に、自分の代わりにしてもらいたいことを「任意後見契約」で決めておく制度です。任意後見契約は、公証人の作成する公正証書によって結ぶものとされています。

もっと詳しく知りたい人は

せいねん こうけん

成年後見はやわかり

こうろうしょう

厚労省



▲厚生労働省ホームページ

日常生活自立支援事業とは

認知症・知的障がい・精神障がいなどにより、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な人や、お金の出し入れ・書類の管理などをするのに不安のある人が、安心して暮らせるお手伝いをする事業です。社会福祉協議会と契約を結ぶことで、以下のサービスを受けられます。

福祉サービス利用の お手伝いをします

- 利用に関する相談や情報提供
- 利用料の支払い手続き
- 苦情解決制度の利用手続き

金銭管理や支払い、 事務手続きを代行します

- 預貯金の出し入れ
- 年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- 公共料金や税金、医療費などの支払い手続きの支援

銀行の貸金庫などで大切な 書類などを保管します

《保管できるもの》

- 年金証書
- 預貯金通帳
- 証書(保険証書、契約書など)
- 実印、銀行印 など

【利用料金】 1回1,200円 *生活保護世帯は無料

【利用料金】 月額250円

成年後見制度では法律行為を支援できる一方で、日常生活自立支援事業では、悪徳商法の被害にあった時の対処や不動産の売買・賃貸契約などに関わる法律行為などの代理、代行はできません。

それぞれの制度の特性を押さえて、ご自身に合った制度をうまく利用していきましょう。

幸田町社会福祉協議会までお気軽にご相談ください。

問合せ 幸田町成年後見支援センター(社会福祉協議会内) 電話 62-7171

ふくしの広場

器具貸出事業のご案内

幸田町社会福祉協議会では、さまざまな物品の貸出事業を行っています。子ども会などの地域行事でご活用ください。

レクリエーション用具

*()は数量、表記のないものは1セット

公式輪投げ(4) ボッチャ(3) ニチレクボール(2) 釣りっ子(2)
 パワーボウリング(2) ストライクボード 競馬でGO! ガラッキー
 たいこ相撲 チャレンジゴルフ ボールボードゲーム(グラウンドゴルフ、ゲートボール)



楽器

鳴子(100) ジャンベ(3) ハンドベル(2) 和太鼓

テーブルゲーム

囲碁(2) オセロ(2)

カードゲーム

むかしのどうぐトランプ(4) 思い出カルタ 唱歌カルタ 昭和スターかるた
 防災グッズ・カードゲーム

その他、車いす、テント、災害用品なども貸出しています。

詳しくは、幸田町社会福祉協議会ホームページでご確認いただくか、直接お問い合わせください。

福祉用具リサイクル事業のご案内

不要となった福祉用具(車いす、特殊ベッド、歩行器やエアマットなど)を譲りたい人と譲ってほしい人との仲介を行っています。

電動ベッド

- 約30年前に購入
- セミダブル
- マットレスは令和5年8月ごろに新品を購入



おむつ用ごみ箱

- 令和5年9月ごろ購入
- 手動
- 未使用の詰替えカートリッジ付



車いす(自走式)・歩行器・杖

約10年前に購入



譲受対象者

町内居住者で、自分で取りに来ることが可能な人

* 介護保険制度により要介護認定または要支援認定を受けた人で、希望する福祉用具の給付の対象となる場合は、原則として対象外となります。

* 用具の引き渡し時のトラブルおよび用具の故障、使用中の事故などについては、当事者の責任となります。

受け取りを希望される人は、幸田町社会福祉協議会までご連絡ください。

問合せ 幸田町社会福祉協議会 電話62-7171

介護のプロによる出張講座

幸田町介護サービス事業者連絡協議会(幸介連)
地域活動応援事業

地域の介護
予防活動を
応援します!



「幸介連」は、幸田町で活動しているさまざまな介護サービス事業者で構成された団体です。
*事務局…中部地域包括支援センター内



いきいきサロンをもっと活発にしたいな

簡単な運動やゲームを取り入れたい。
どうしたらいいかな...



そんな地域で活動する人たちを、介護の専門職が応援します!

内 容 さまざまなテーマ(介護予防体操やゲーム、介護技術の講義など)で、介護の専門職を派遣します。

- 例
- 姿勢改善トレーニング
 - お口の元気アップ体操
 - 福祉用具、住宅改修について
 - もしもの時の人生会議
 - 介護施設について

講座リストは、
2次元コードからご覧いただくか
幸介連事務局にお問い合わせください。



◀ 講座リストは
こちら



介護予防
体操



尿もれ
予防体操



お口の
体操

対 象 町内で活動する高齢者向けの地域
サロンや介護予防自主グループなど、
5人以上の住民の集まり

受講料 無料

申込み 開催希望日の1カ月前までに幸介連事務局(電話62-7331)へお申し込みください。

高齢者や介護に関する悩みや疑問など、お気軽にお問い合わせください
幸田町中部地域包括支援センター 電話62-7331

「幸田町認知症介護家族交流会」を開催します

- と き** 毎月第3金曜日 午後1時30分～3時30分
- ところ** 福祉サービスセンター 2階会議室(幸田町保健センター向かい側)
- 内 容** 町内在住の認知症の人のご家族および認知症の疑いがある人のご家族、皆さまで交流を行いながら、一緒に認知症について学びましょう。
- 参加費** 無料
- 申込み** 1週間前までに中部地域包括支援センター(電話62-7331)へお申し込みください。

「おれんじカフェ(認知症カフェ)」を開催します

- と き** 毎月第2水曜日、第4金曜日 午後2時～3時
- ところ** ハミングバードカフェ(幸田町役場内)
- 内 容** お茶を飲みながら、認知症に関心のある仲間と、日ごろの不安や体験談、失敗談など気軽に話をする交流の場です。
- 対 象** 町内在住または在勤で、認知症の人やそのご家族、認知症予防に興味のある人
- 参加費** 無料 *飲食必要な人は実費負担
- その他** 参加は自由で、事前申し込みは不要です。

「家族介護教室」を開催します

テレビや友達との話で介護の話題が出て、疑問や不安に思ったことはありませんか？この機会に介護について学び、将来に備えましょう。また、現在介護をされている人も活用できる情報が満載です。

と き	ところ	内 容	申込み開始
11月10日(金) 午前10時～正午	さくら会館 第一研修室	「家族介護に必要な介護技術入門～食事介助～」 講 師 日本福祉大学社会福祉総合研修センター	10月2日(月) から
12月15日(金) 午前10時～正午		第1部 「認知症ケアと『愛』」 第2部 「介護施設ってどんなところ」 講 師 椎葉 秀幸氏(特別養護老人ホーム メリーホーム幸田 介護福祉士)	11月6日(月) から

- 対 象** 家族を介護している人、家庭介護の知識を身に付けたい人
- 定 員** 各日30人 *先着順
- 参加費** 無料
- 申込み** 申込み開始日以降に中部地域包括支援センター(電話62-7331)へお申し込みください。

ボランティアだより

ボランティアセンター登録団体の活動紹介

おてらの横 食堂

運営 ▶ こうた環境ネットワーク

「おてらの横 食堂」は、子どもから大人まで気軽に参加することのできる地域の食堂です。

8月20日(日)、大草西コミュニティホームにて開催し、子ども14人、大人11人、計25人が参加しました。食事の提供のほか、ワークショップとしてボランティアが手話で絵本の読み聞かせを行いました。参加者、地域住民やボランティアなどが垣根を越えて皆で楽しみ、地域のつながりを広げる場にもなっています。

この日のメニュー ▶

- サラダ寿司
- そうめん汁
- フルーツポンチ



◀ ワークショップの様子

次回のお知らせ

- | | |
|-----|---|
| と き | 12月17日(日) 午前10時～午後1時30分 |
| ところ | 大草西コミュニティホーム |
| 定 員 | 40人 *先着順 |
| 参加費 | 幼児、小学生、中学生、高校生…無料 大人…300円 |
| 申込み | 11月30日(木)までに幸田町社会福祉協議会(電話62-7171)へお申し込みください。
申込後、開催内容の詳細などをこうた環境ネットワーク代表者から申込者に電話で連絡します。 |

活動で使用するお米、乾物(パスタ、うどん、蕎麦など)の寄付も募集しています。ご自宅で眠っている食品があれば「もったいない」を「ありがとう」へ変える活動にぜひご協力ください。

ボランティア体験学習のお知らせ

幸田町ボランティア連絡協議会が主催するボランティア体験学習です。

- | | |
|-----|--|
| と き | 10月22日(日) 午前10時～正午 |
| ところ | 町民会館 大会議室 |
| 内 容 | 手話体験学習会、手話で絵本の読み聞かせ |
| 定 員 | 40人 *先着順 |
| 講 師 | たかはし けいこ
高橋 恵子氏 (幸田町聴覚障害者福祉協会 会長) |
| 参加費 | 無料 |
| 申込み | 10月13日(金)までに幸田町社会福祉協議会(電話62-7171)へお申し込みください。 |



トピックス

3年ぶりの開催！ 青少年等ボランティア福祉体験学習

幸田町社会福祉協議会では、福祉教育の一環として、ボランティア活動を希望する町内の中学生、高校生を対象に、夏休み期間を利用して地域の福祉施設や町内のふれあい・いきいきサロンなどでボランティア体験学習を行っています。

本年度は、コロナ禍を経て3年ぶりの開催となり、福祉施設5カ所とふれあい・いきいきサロン2カ所にご協力をいただき、延べ29人の生徒がボランティア体験を行いました。

福祉施設では、ボッチャの体験や体操、ゲームなど行い、ご利用者と話をしながら楽しく活動していました。ふれあい・いきいきサロンでは、参加者と体操やゲームなどを行い、交流を図っていました。

今回のボランティア体験を通して、「ともに生きる」力や思いやりの心を育むきっかけになればと願っています。



ご利用者と話をしている様子



ご利用者とゲームを通じて交流している様子



参加者と一緒に体操を行っている様子

幸田町社会福祉協議会 嘱託員・非常勤職員の募集

	ケアマネジャー（嘱託員）	ホームヘルパー（非常勤職員）
受験資格	69歳までの人のうち、介護支援専門員の資格を有している人	介護職員初任者研修修了者相当、実務者研修修了者相当または介護福祉士の資格を有している人
採用予定人員	1人	若干人
勤務内容	居宅介護支援事業所におけるケアプラン作成業務	訪問介護事業所におけるホームヘルプ業務
勤務場所	幸田町福祉サービスセンター	利用者宅
勤務時間	月曜日～金曜日 午前8時30分から午後5時15分（内休憩時間60分）までの範囲内で勤務する。原則1日当たり7時間45分で、1週間当たり38時間45分とする。 *勤務日および勤務時間は応相談	午前8時30分から午後5時15分までの範囲内で月間勤務予定表で定める日
賃金	月額220,000円～260,000円 *社会福祉法人幸田町社会福祉協議会嘱託員・非常勤職員の報酬・賃金基準による。	時給1,530円～1,710円 *採用後6カ月は新人期間として時給1,500円～1,680円
提出書類	履歴書（3カ月以内に撮影した写真を貼付、市販のもので可）、資格証明書の写し	
応募方法	随時、幸田町社会福祉協議会へ必要書類を提出してください。	
その他	・採用は、書類審査および面接により決定します。 ・提出書類（履歴書など）は、理由を問わず返却しません。	
問合せ	幸田町社会福祉協議会 電話(0564)62-7171	

Go! Go! SCタイムズ

SCの活動を紹介します



生活支援コーディネーター(通称SC)ってなに?

SCは、より住みやすい幸田町をつくるためのアイデアや方法を住民の皆さまと一緒に考え、活動の企画・運営をサポートします。



SCの主な取り組み

1 みつける

地域にある活動や取り組みなどの情報収集や関係者との会議などを通じて、地域の今を知り、理解を深めます。

2 あつまる

さまざまな立場の人が集まり、地域情報の交換や自分たちでできる活動についてアイデアを出し、話し合う場である「協議体」の運営支援を行います。

3 つくる

住民の皆さまや関係機関とともに、地域の声に応える新たな取り組みを考えていきます。また、それらの活動や取り組みを支える担い手の発掘や養成も行います。

4 つたえる

皆さまに活用していただけるサービスや地域にある活動、取り組みなどの情報を発信していきます。

今回は「みつける」活動を紹介します

老人クラブやふれあい・いきいきサロンへ訪問し、参加者と交流しながら地区のことや活動の現状などをお聞きます。

住民の皆さまから教えていただいた地域の活動やお店などを訪問し、新たな情報を集め、地域とSCのつながりを広げます。



その他にも、町内の企業へ訪問し、情報交換をして互いに協力できることを考えたり、新しくできた公共施設などを見学し、住民の皆さまへ情報提供しています。

SCの活動や協議体について、興味のある人はお気軽にお問い合わせください。

問合せ 幸田町社会福祉協議会 電話 62-7171

ご寄付紹介 (順不同・敬称略)

R5.6.13~R5.9.11

- 現金 ピアゴ幸田店 61,852円 道の駅筆柿の里・幸田 23,000円
(株)石原組従業員一同 6,000円 合同会社Fitnessこうた社員一同 4,500円 親子文化を育てる会 2,000円
- 物品 (株)タケヒロ産業 竹ぼうき100本

ありがとうございました

編集・発行

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒444-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4
電話 (0564) 62-7171 FAX (0564) 62-7254
居宅介護支援事業所 電話 (0564) 64-1069
訪問介護事業所 電話 (0564) 83-7273
中部地域包括支援センター 電話 (0564) 62-7331
メール info@kotashakyo.jp



ホームページ
<http://kotashakyo.jp/>



この広報紙は、皆さまからの会費と赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。